

AQ7280 OTDR

OTDR (Optical Time Domain Reflectometer) は、光ファイバの片端から光パルスを入射し、入射端に戻ってくる反射光の強度を時間軸上で解析することにより、光ファイバの長さや損失、接続点の位置と接続損失などを測定する測定器です。光ファイバ線路の建設工事、保守用測定器として通信事業者や通信建設工事会社などで広く使われています。

AQ7280 OTDR は、本体に OTDR ユニットと光パワーメータ/可視光源モジュール各 1 台を搭載できるモジュール方式と、マルチタッチ対応のタッチパネルを採用したハイエンド OTDR です。

【主な特徴】

■ 直感的で優れた操作性

業界最大クラス 8.4 型の静電容量式タッチパネルを採用しました。複数のポイントを同時にタッチして表示データの移動や表示サイズの変更ができるマルチタッチ方式なので、スマートフォンなどの情報端末のような感覚で直感的な操作が可能です。

また、従来製品で好評を得ていたロータリーエンコーダ方式の操作キーも装備しました。作業者は、作業条件に応じて、タッチパネルか操作キーかを選択することができます。

■ 多様な測定ニーズに対応するラインアップ

操作部を含む本体に OTDR ユニット、光パワーメータ/可視光源モジュールを装着する構造にして拡張性を高めました。

OTDR ユニットや光パワーメータ/可視光源モジュールはお客様自身で交換できるため、試験環境の変化や、光通信技術の進化に伴う新たな測定ニーズにも柔軟に対応できます。

OTDR ユニットは長距離測定ニーズに対応する業界最高クラス 50 dB のダイナミックレンジに対応したモデルや、最大 4 種類の異なる波長を 1 台で測定できるモデルなど 9 タイプ、光パワーメータ/可視光源モジュールは 5 種類をラインアップしました。

■ クラス No 1 性能と新機能

独自の省電力設計と大容量リチウムイオンバッテリーにより、通常使用で 15 時間、連続測定で 10 時間動作するため、AC 電源のない現場でも終日作業ができます。電源投入から 10 秒以内で起動します。これにより、現場に到着後、すばやく測定を開始できます。

クラス No 1 性能である最短 2 cm の高分解能は、いままでにはない詳細な測定を可能にしました。



表示されている測定波形や、保存された測定データファイルをもとに、測定条件、波形出力や測定結果などを選択し、レポートを PDF 出力することができます。ネットワーク上の障害点などの測定結果を解りやすくアイコン図形で表示することができます。また、ごくまれに発生する再現性の低い光ファイバ線路の障害を監視する機能も搭載しました。

【主な仕様】

AQ7280 OTDR 本体

ディスプレイ	8.4 型カラー TFT 液晶ディスプレイ
パネル	マルチタッチ対応静電容量式タッチパネル
外形寸法	約 287 mm (W) × 210 mm (H) × 80 mm (D)
質量	約 2.2 kg
バッテリー	15 時間 (Telcordia GR-196-CORE Issue2)
動作時間	10 時間 (連続測定)

OTDR ユニット

モデル	波長 (nm)	ダイナミックレンジ
AQ7282A	1310/1550	36/34 dB
AQ7283A	1310/1550	40/38 dB
AQ7284A	1310/1550	44/42 dB
AQ7285A	1310/1550	46/44 dB (50 dB Typ.)
AQ7283F	1310/1550,1650	40/38,37 dB
AQ7283H	1310/1550/1625	40/38/37 dB
AQ7284H	1310/1550/1625	44/42/41 dB
AQ7283K	1310/1490/1550/1625	40/36/38/37 dB
AQ7282M	850/1300	22/24 dB

OPM/VLS モジュール

モデル	測定範囲 (dBm)	不確かさ	光出力 波長 (nm)	光出力 パワー (dBm)
AQ2780	+10 ~ -70	±5%	—	—
AQ2781	+27 ~ -50	±5%	—	—
AQ2780V	+10 ~ -70	±5%	650 ±20	-3 以上
AQ2781V	+27 ~ -50	±5%	650 ±20	-3 以上
AQ4780	—	—	650 ±20	-3 以上

問い合わせ先：横河メータ&インスツルメンツ(株)
 カスタマサポートセンター
 TEL：0120-137-046
 FAX：042-534-1438
 Email：tmi-cs@csv.yokogawa.co.jp